

教室の概要

○ 教室の目的

子どもが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、子どもの安全・安心な活動拠点として放課後子ども教室を開設する。

学習やスポーツ・文化活動、地域との交流活動等の取り組みを実施する。また、異年齢との遊びや生活を通して、基本的な生活習慣を身につけながら、人間関係を育てることを目的とする。

○ 教室開設の経緯

市内 13 小学校のうち川根小学校のみ、放課後児童クラブ実施の要件である小学 1 年生～ 6 年生までの登録児童数が 10 人に満たなかったことから、放課後子ども教室を実施した。地域の自治振興組織の活動が活発である「川根振興協議会」に委託し、実施している。

【開始年度】平成 19 年度	【実施校区】川根小学校区
【開催場所】エコミュージアム川根	【コーディネーター人数】 1 人 【安全管理員人数】 1 人 【学習アドバイザー人数】 1 人
【開催日・開催時間】	
月・火・木・金曜日 16:30～18:30	
水曜日 15:30～18:30	
土曜日及び長期休業期間 8:30～16:30	
【年間開催日数】 292 日	
【参加学年・平均参加人数】	
小学校 1～6 年生 5 人	

活動内容

○ 一日のメニュー

①児童の迎え→②宿題→③おやつ→④遊び（一輪車、オセロ、将棋、読書等）→⑤帰宅

○ 特徴的な活動プログラム

農業体験

地域の畑を借りて、農業体験をしている。収穫した野菜を使って、自分たちで調理する活動も行っている。

町内の文化財めぐり

一日を使い、町の文化財めぐりを行っている。ガイドは、放課後子ども教室のスタッフである。
※この他にも、お菓子作り、もちつき、茶道教室、習字教室も行っている。

運営上の工夫

- 安全管理面の工夫
児童の安全確保のため、小学校まで迎えに行っている。
- 学習支援の取組の充実
平成24年度より、夏期休業中に、地域の元教員の方に学習の補助に来ていただいている。
- 町内にある放課後児童クラブとの意見交換
町内の放課後子ども教室は、1教室しかないので、町内の児童クラブの指導員との交流会を茶話会形式で持っている。日々子どもへの指導の仕方や学習支援の仕方などについて交流している。
- 保護者との連携
年度当初や長期休業前に、全保護者に対し教室についての説明会を実施し、教室への理解を図っている。また、児童全員に「連絡カード」を配付し、保護者が連絡事項を記入できるようにし、保護者との連携を図っている。

かわね放課後子ども教室連絡カード							
児童保護者		⇄					放課後子ども教室
7月		児童氏名					
月	火	水	木	金	土	日	
30	31					1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	

連絡カードの記入のしかた
・放課後子ども教室へ参加する場合は、日付欄の空白へ保護者の方が印鑑を押してください
・保護者から放課後子ども教室への連絡事項があれば、破線の下空白へ記入してください

事業を実施して

【参加者の声】

- (児童の声) 野菜の収穫や料理が特に楽しいです。
- (保護者の声) 毎日のように、勉強を見てもらえ、とても助かっています。
- (スタッフの声) 子どもたちといろいろな体験ができることがうれしいです。

【成果と課題】

子どもたちが集まるとケンカもするが協力し合うこともでき、農業体験などではのびのびとした表情を見ることができた。
スタッフが高齢化していることから、後継者の確保が課題である。

